

平成30年度第3回鶴の里まちづくりミーティング 主な意見

平成30年9月3日（月）15：10
鶴田町傾聴ボランティア「つるりんの会」
4名

●要望

- ・悩んでいる人を見つけたら、月2回程度鶴遊館で開かれる傾聴サロンを紹介してほしい。
- ・地域の方々を見守る民生委員の方や保健協力委員の方などにも、悩みを抱えている人を発見できるような体制を整えてほしい。
- ・町主催の傾聴ボランティア養成講座（2年に1回）は、今後も継続してほしい。

●意見

- ・傾聴をしていて利用者が心を開いていくのを見ると、活動して良かったと思う。
- ・傾聴について学ぶことで自分の職場や家族にも役立つ。
- ・さらに会員が増加することで様々な形で傾聴できる。
- ・町からの依頼や町民とコミュニケーションが取れるような企画、場所があれば直接出向いてお話しを聞く活動もしていきたい。
- ・悩みを抱えている方と話す時に、手芸などのツールを使うことでコミュニケーションがとれる。
- ・子どもが学校に行きいじめられるのであれば、無理に行かせる必要はない。誰かがSOSに気づく。
- ・役場の中で保健師さんの笑顔が町民を引き付けている。言葉をかける前に、まず笑顔が出ているのでとても話しやすい。